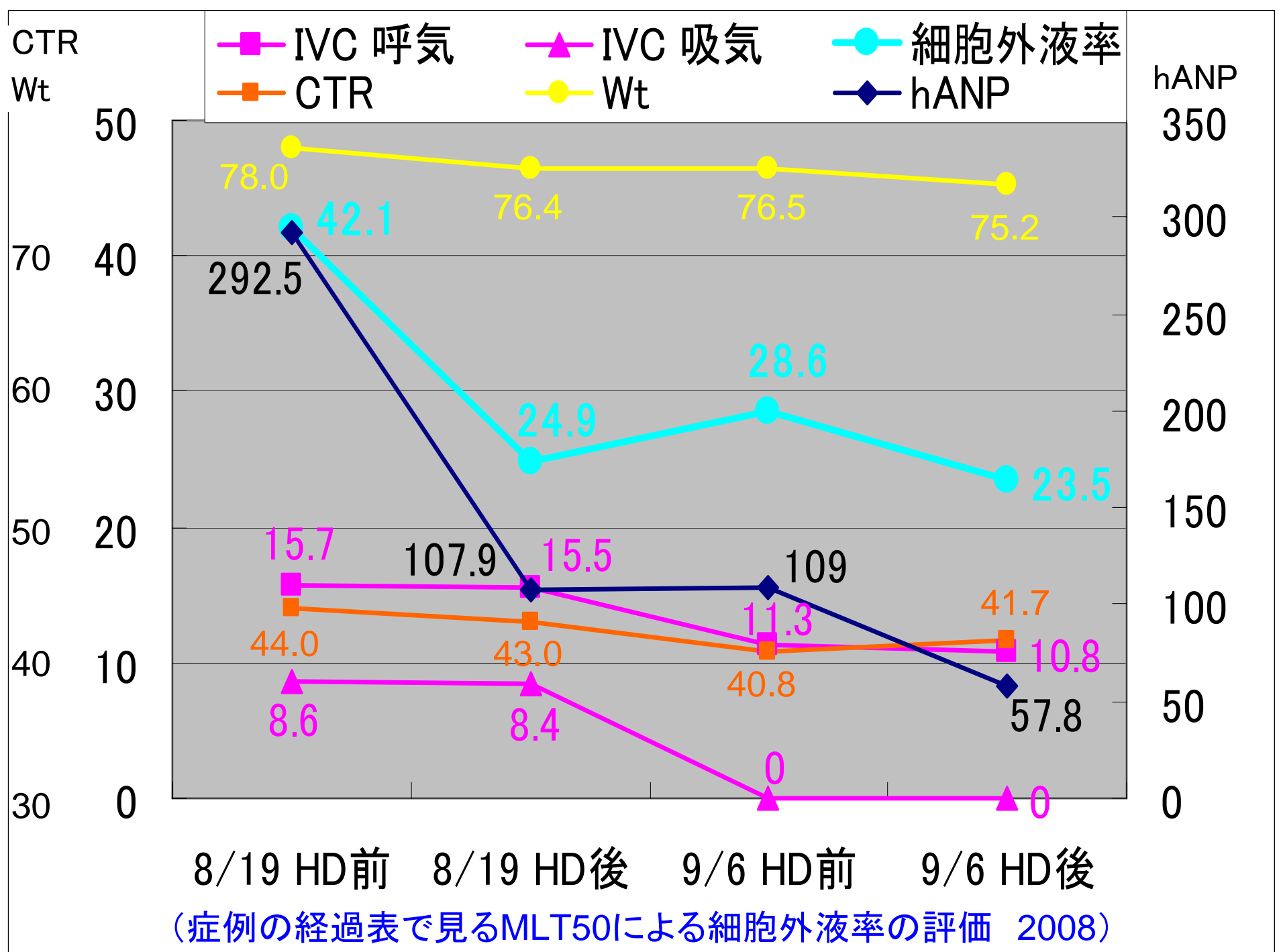


# ドライウェイト診断ツールとしての セキスイMLT50と インボディーS20の比較評価

偕行会岐阜

中津川共立クリニック

野溝明弘 平田聖文



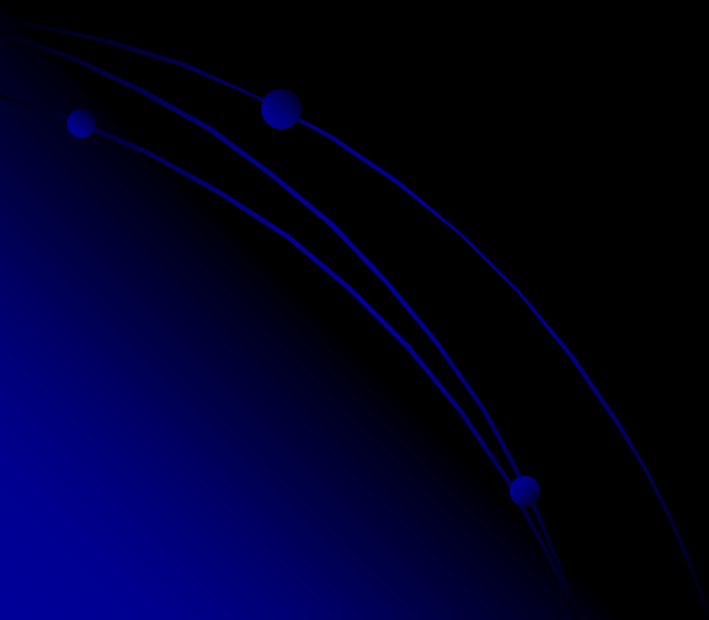
## セキスイ MLT-50

- 日本製
- ほぼ国内のみ
- 小型・携帯可能
- 多周波数インピーダンス方式
- 半身で計測
- 専用電極は使い捨て
- 50万円くらい？
- 保険点数：60点

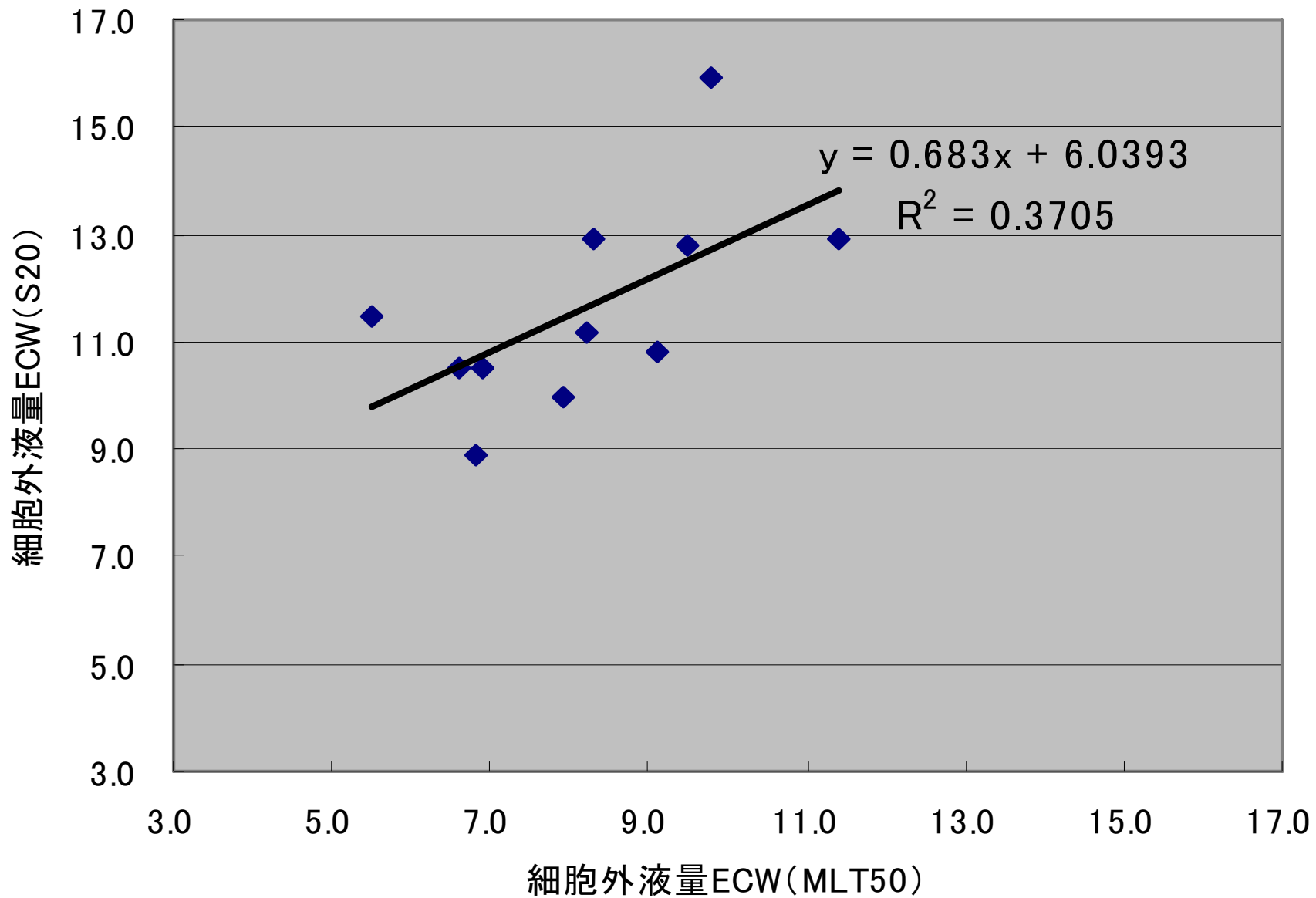
## インボディー S20

- アメリカ製
- 世界の標準器
- 小型ワゴンサイズ
- 多周波数インピーダンス方式
- 全身で計測 \*
- 電極は半永久的
- 定価は250万円くらい
- 保険点数：60点

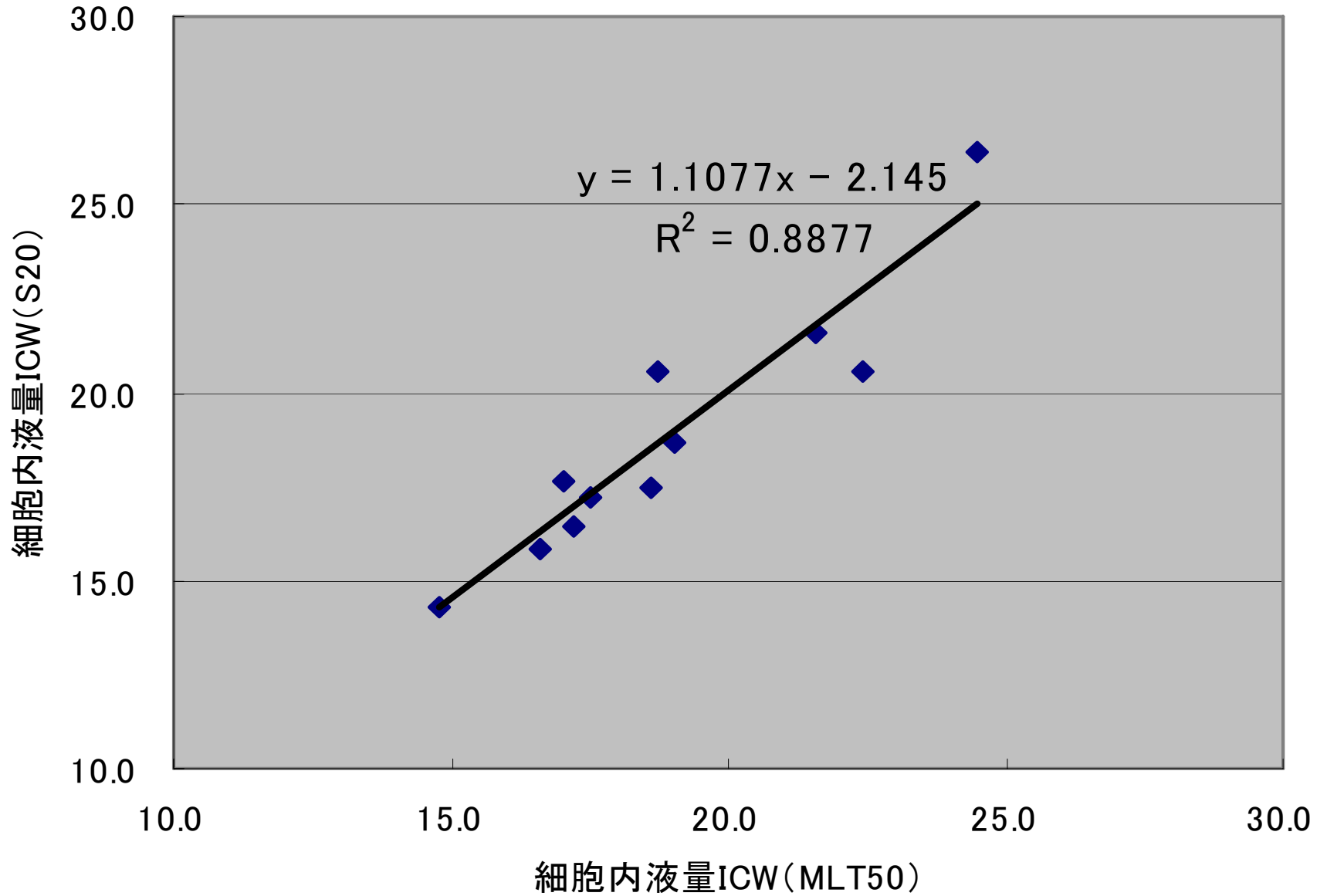
# 健常者における計測



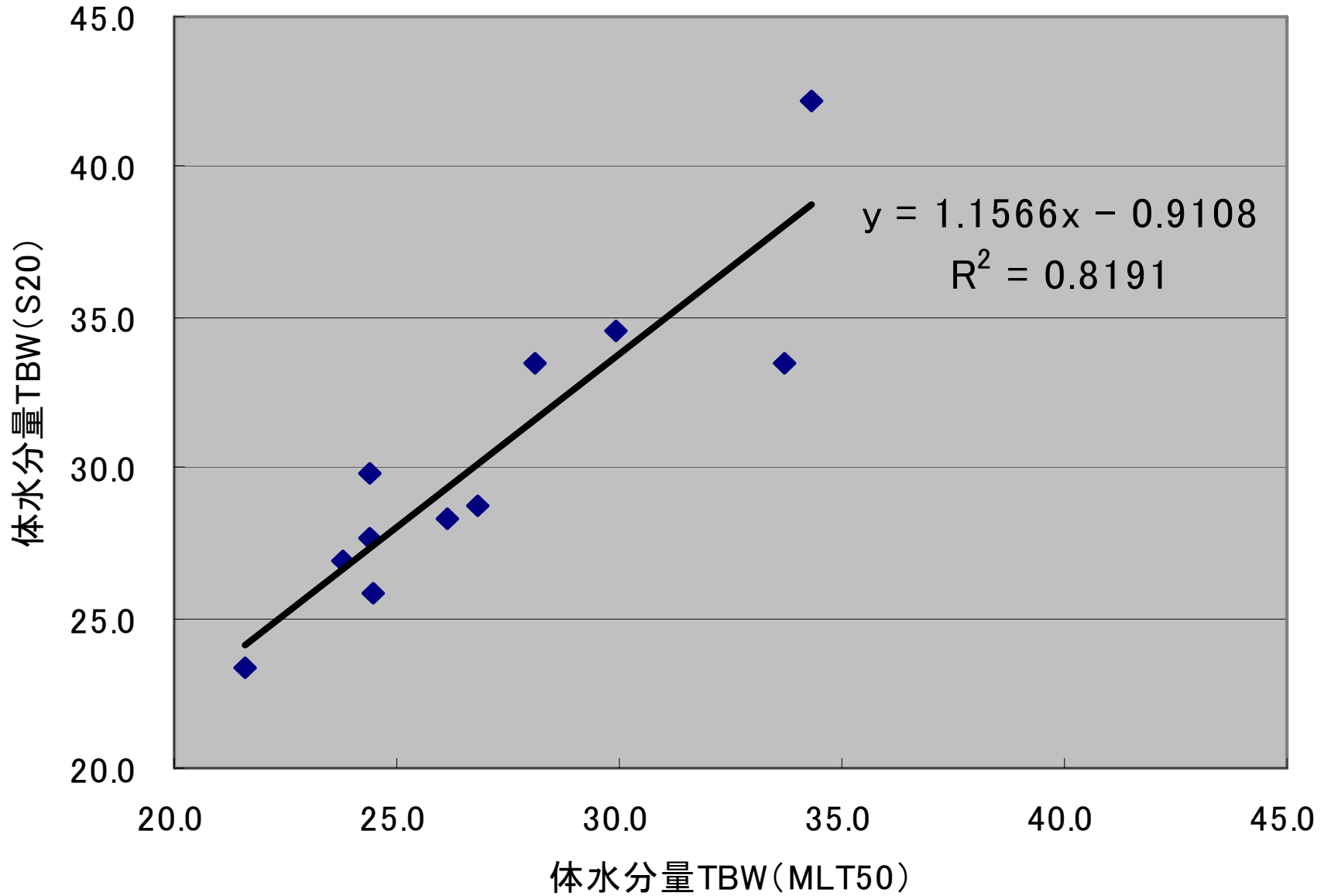
# 健常者における細胞外液量測定



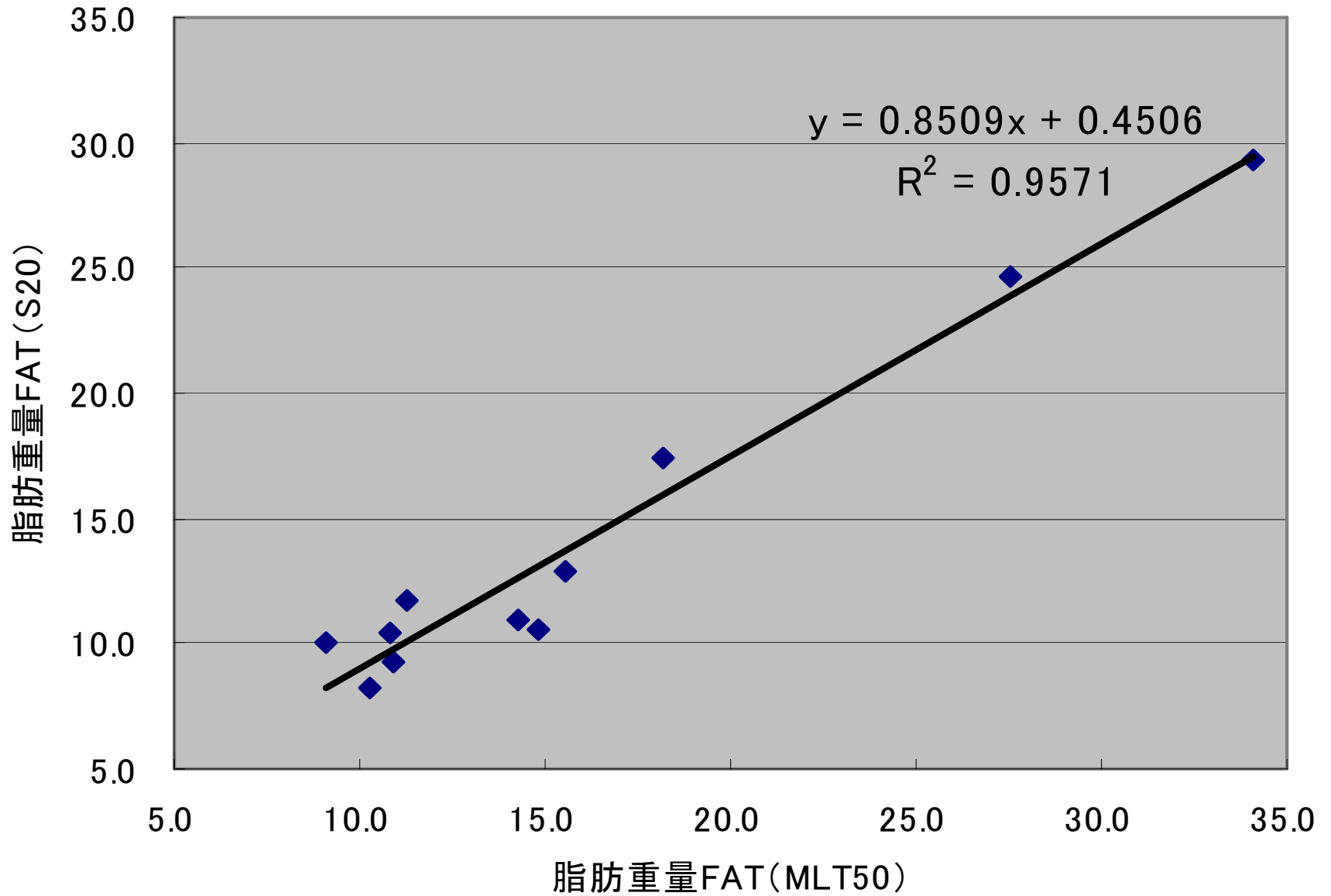
# 健常者における細胞内液量測定



# 健常者における体水分量測定

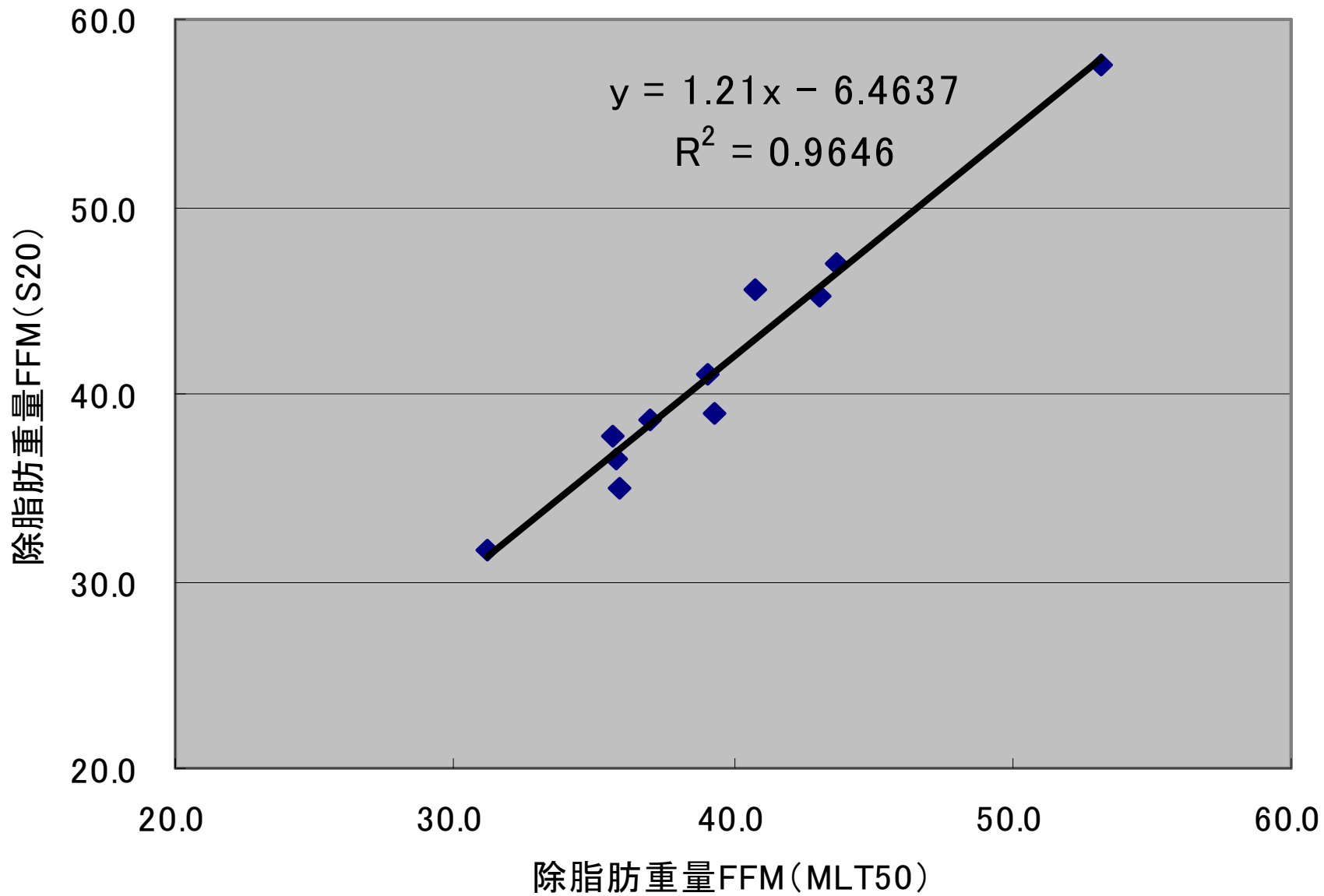


# 健常者における脂肪重量測定

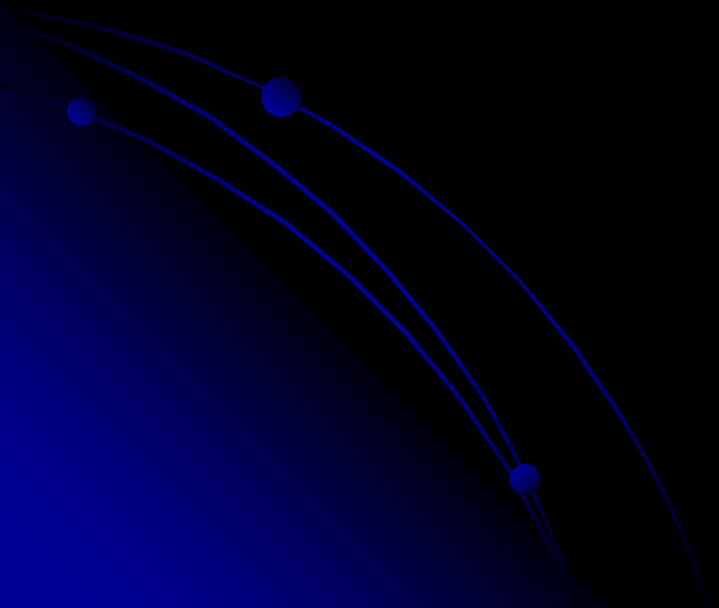


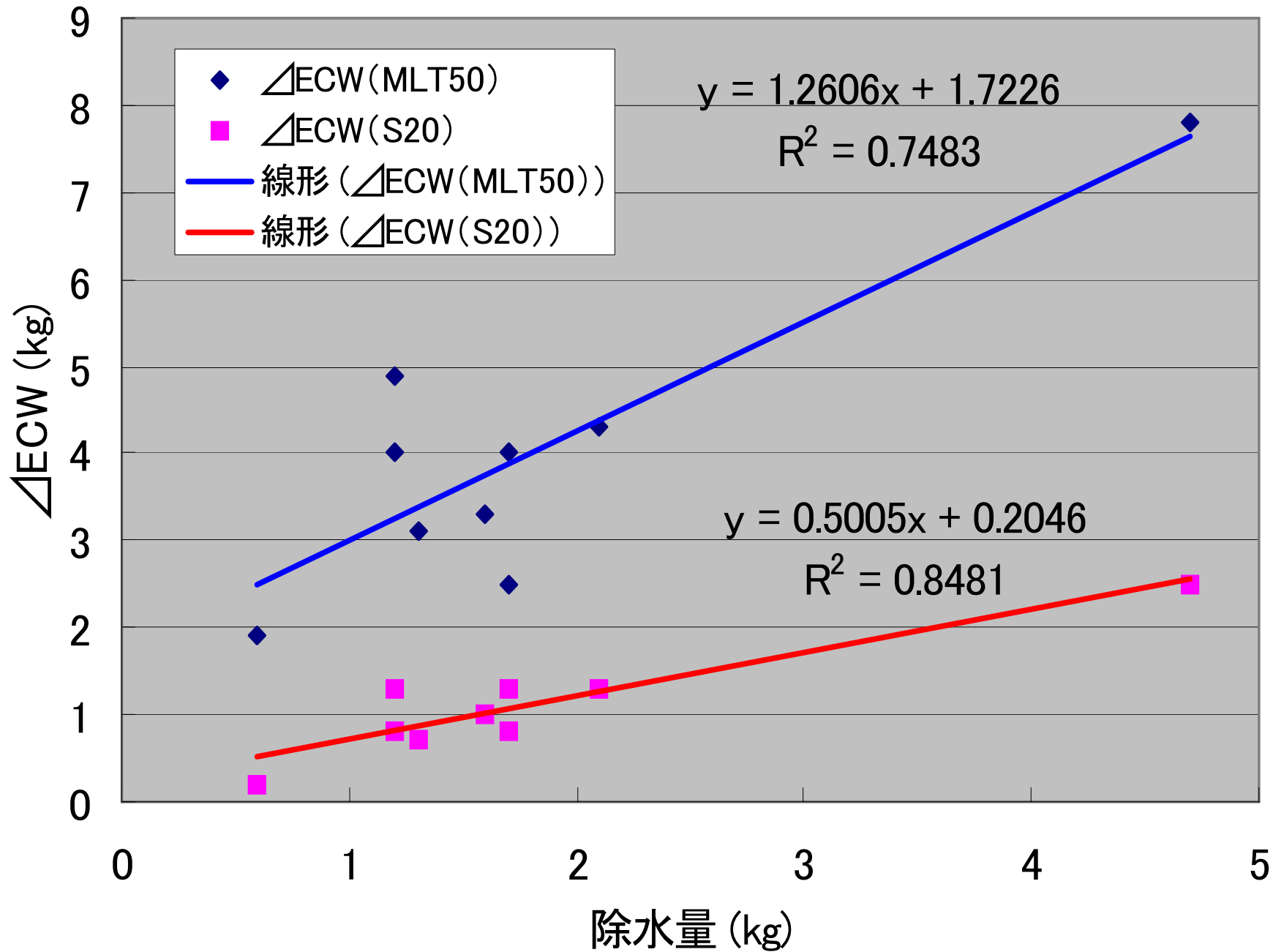


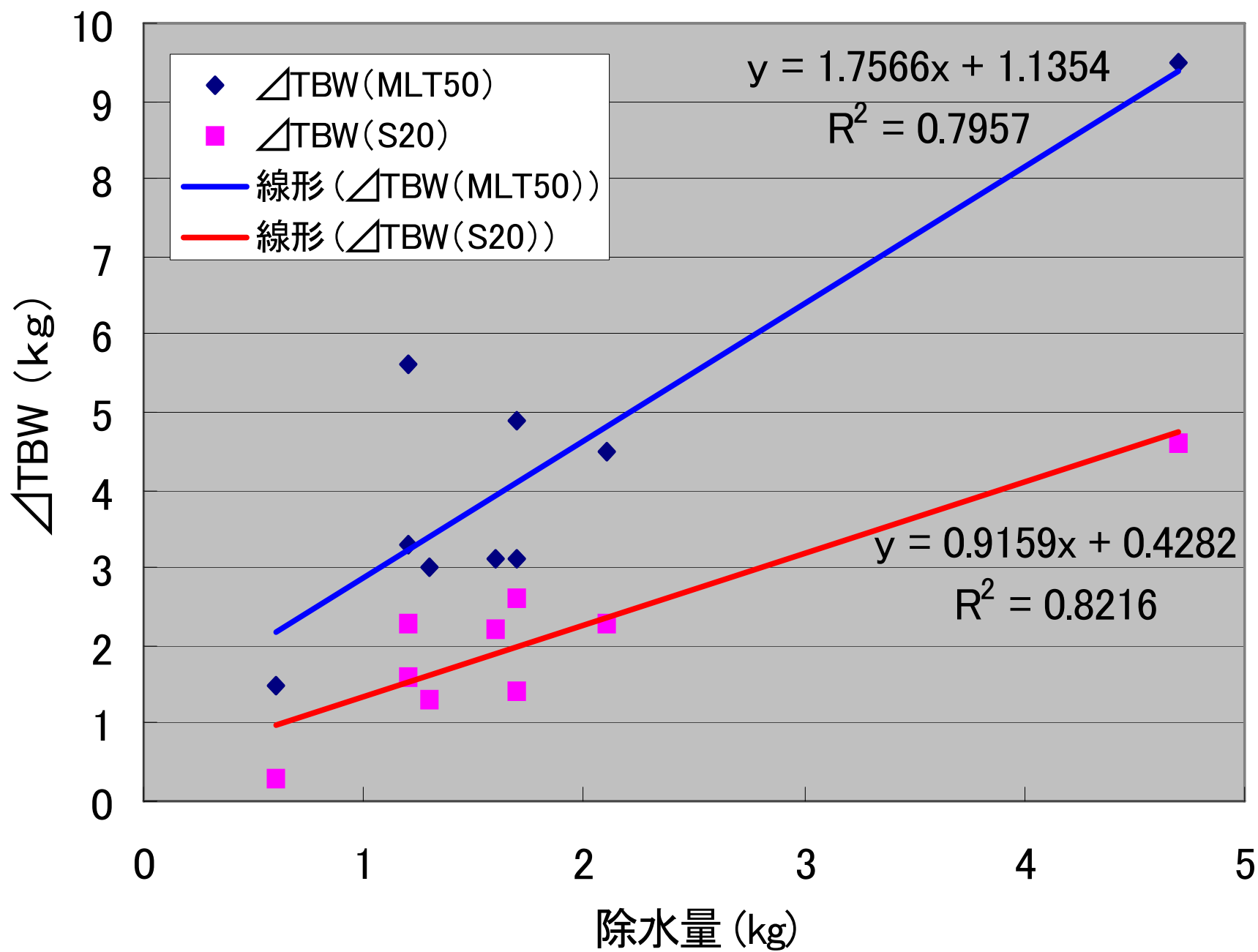
# 健常者における除脂肪重量測定

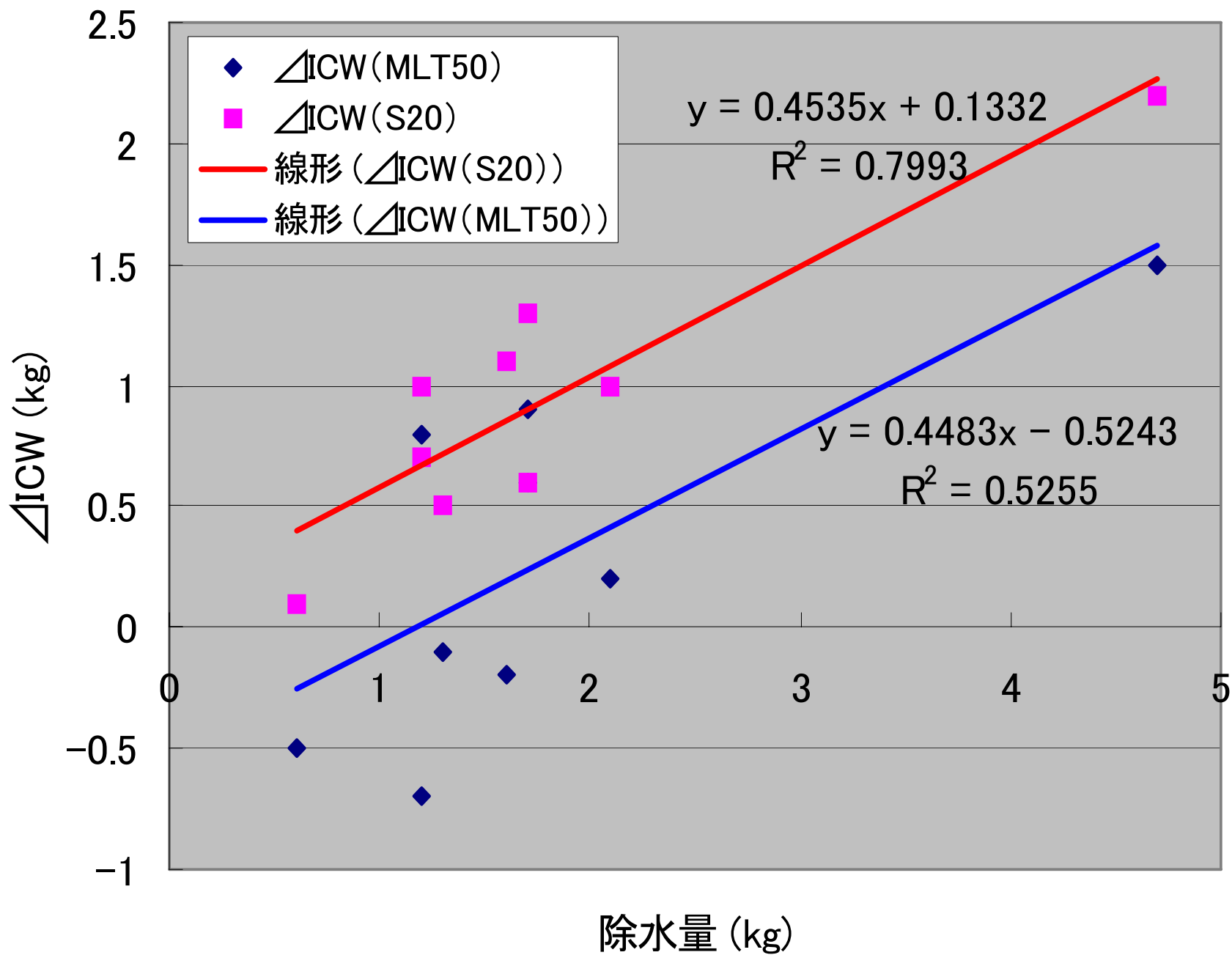


# 透析前後における計測

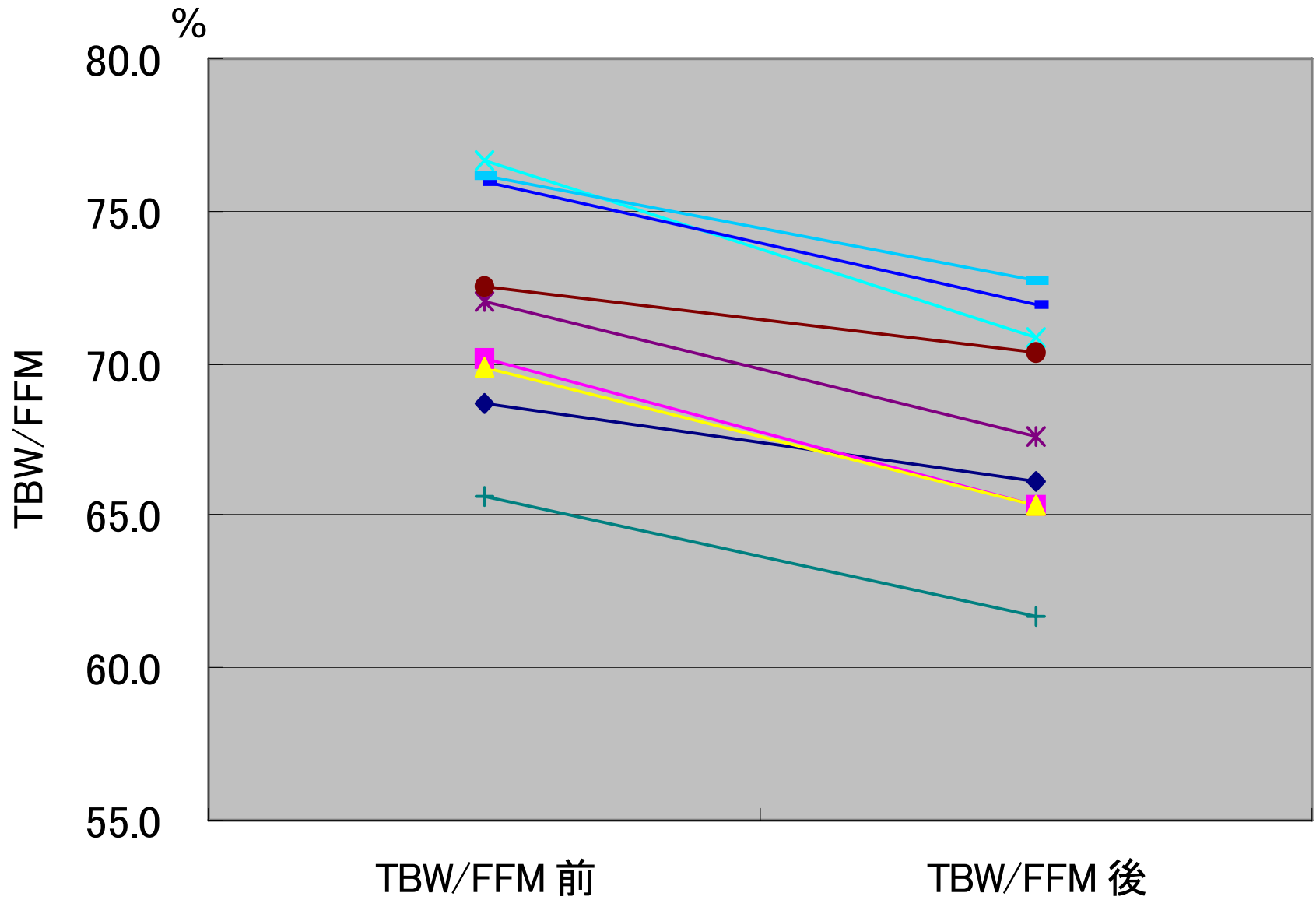




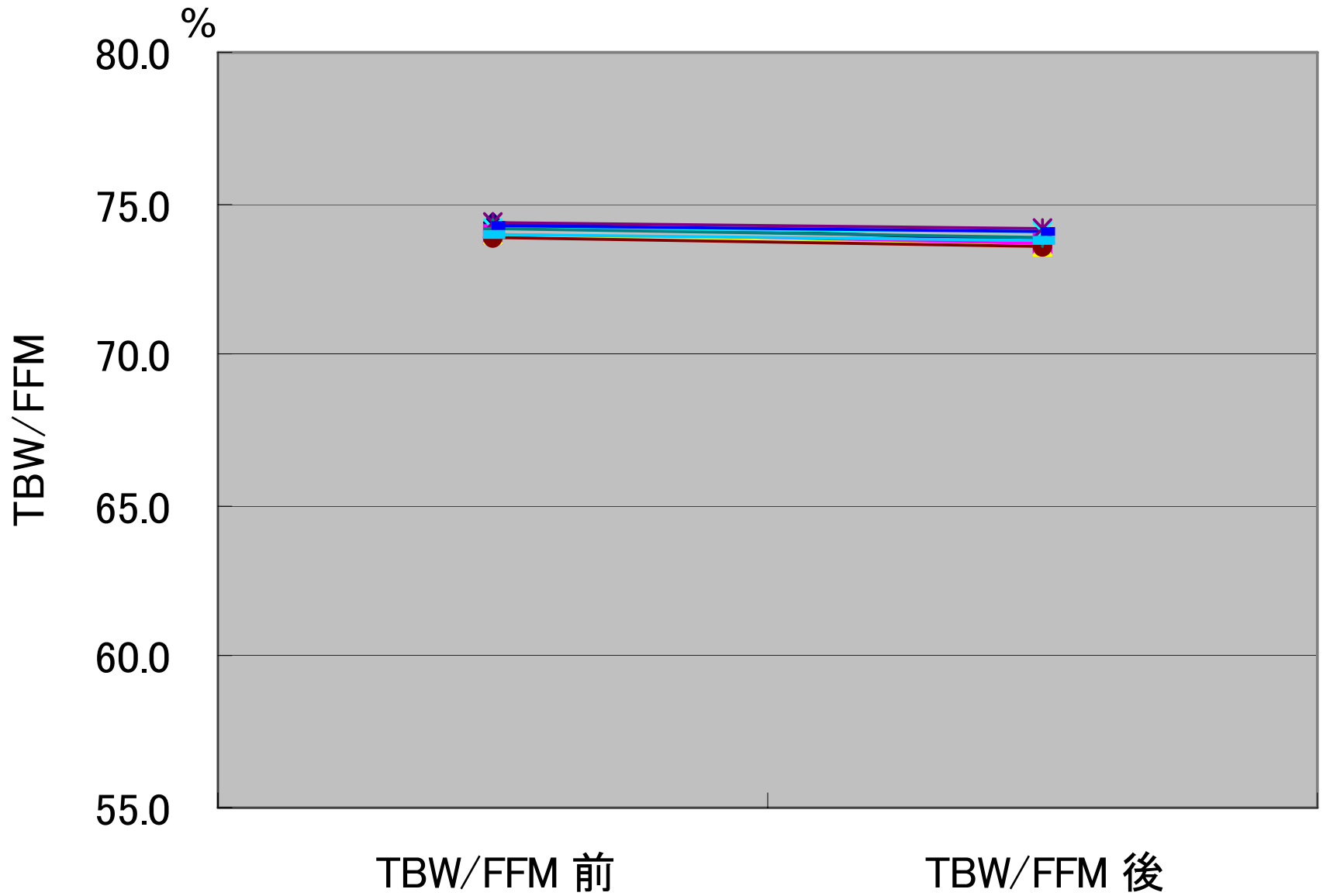




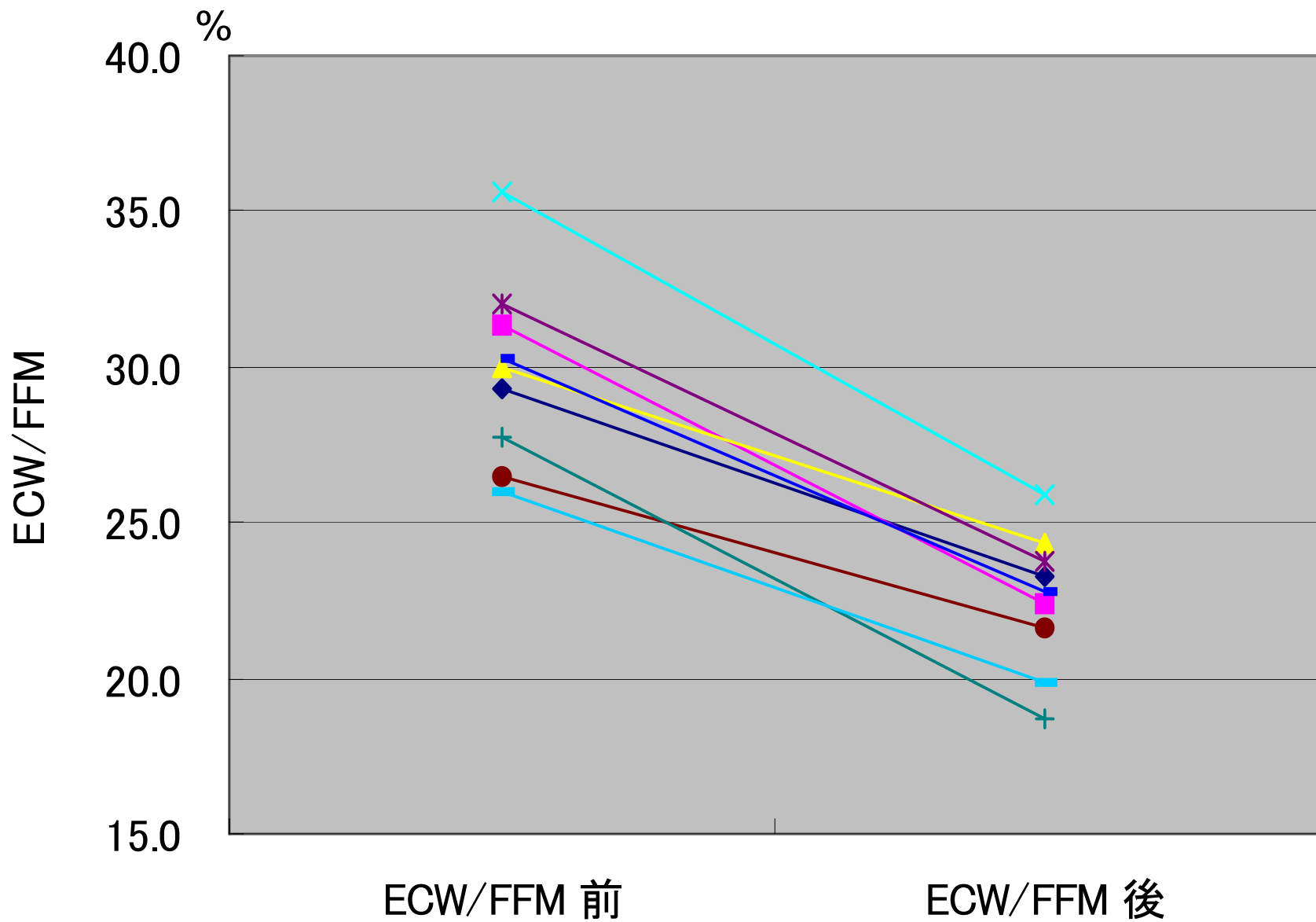
透析前後における体水分率の変化 (MLT50)



# 透析前後における体水分率の変化 S20

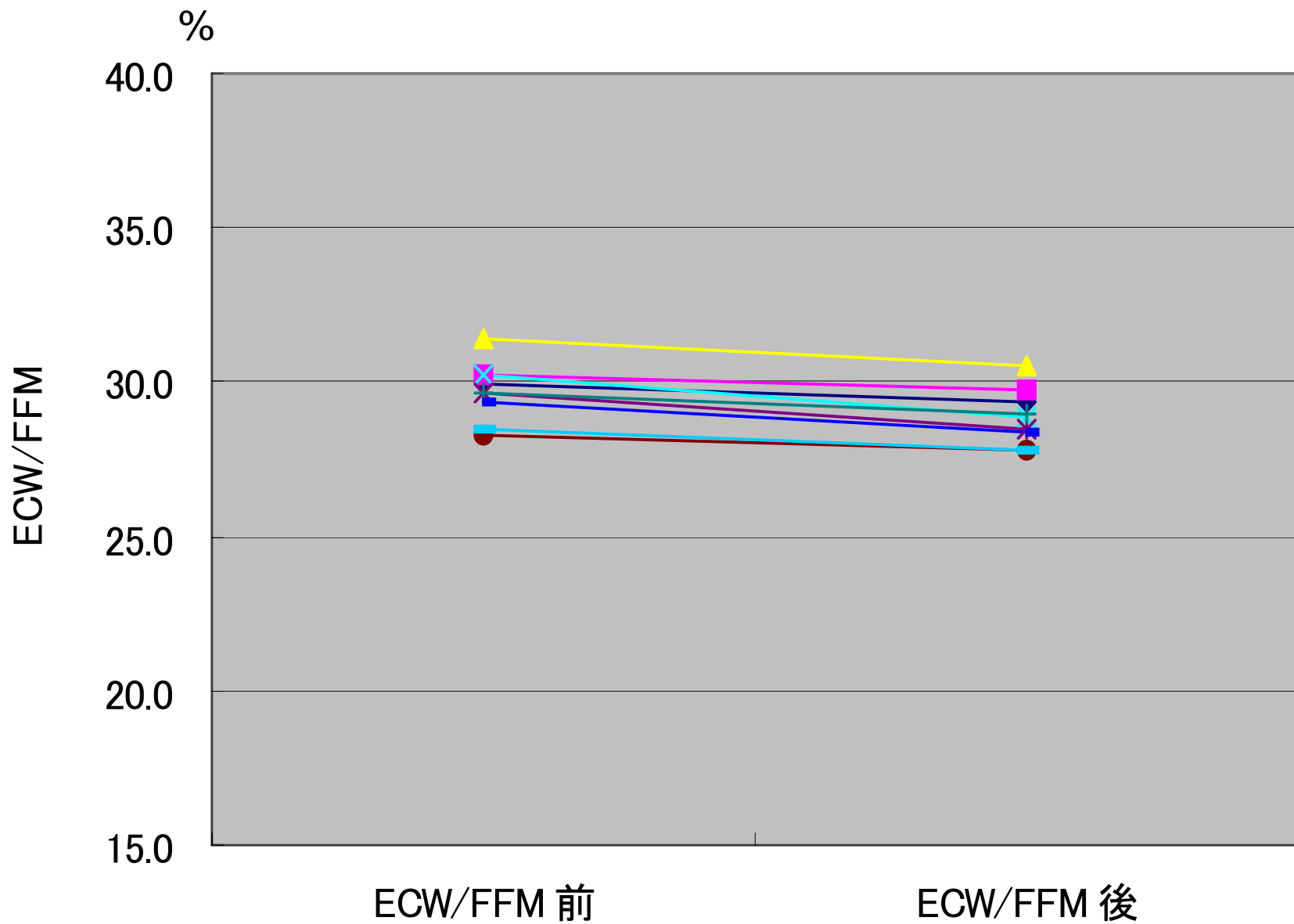


# 透析前後における細胞外液率の変化 MLT50





# 透析前後における細胞外液率の変化 S20



# 考察

- $\Delta$ ECW,  $\Delta$ TBWの結果から、体水分量分析の精度はS20の方が優れていそう。
- DWt評価に利用するためには、HD前後の変動が大きく、その測定値の再現性がよく、体格に影響されにくいマーカーがよい。
- MLT-50で測定されたECWは、S20よりも不正確かもしれないが、HD前後の変動が大きく、測定を繰り返しても再現性がよい。ECW/FFMの正確さに劣っていても、HD前後の変動が大きく、再現性がよければ、これをDWtマーカーとして使うことは十分に可能。
- S20を用いる場合は、TBWを利用するのが望ましい。この場合、症例毎に値が大きく異なるため、症例毎の基準値を定める必要がある。